

令和8年度 学生まちづくり助成金制度 交付団体一覧

	事業名	団体名
	概要	
1	ろぼっと娘と遊ぼう!学ぼう!プロジェクト —小中学校プログラム必修化に伴う教材制作と授業研究—	ろぼっと娘(プログラミング教育 ボランティア愛好会)
	小中学校のプログラミング教育の必修化に対応し、生徒のプログラミング思考への抵抗軽減と教員の負担軽減を目的として、オリジナル教材制作及び授業プランを考案するとともに、圏域内の小中学校に出向き、学生自らが講師となり、出前授業を実施する。	
2	未就学児の性の健康教室「じぶんのからだをだいじにしよう」	八戸学院大学別科助産専攻4期生
	我が国では児童虐待や性犯罪に巻き込まれる子どもたちが増加している一方で、性教育は小学校からとなっている。先進国で主流となっている未就学児からの「包括的性教育」にならない、学生が年長児を対象とした「未就学児の性の健康教室」を実施する。	
3	氷都八戸をさぐる：学生主体・検証型まちづくりプロジェクト	ICE SPARK LAB
	八戸市の都市ブランドである「氷都八戸」に着目し、スポーツと花を掛け合わせた体験型イベントを開催し、「スポーツと花」といった単体では生まれにくい魅力や交流を創出することで、市民の地域への誇りと愛着を高めるとともに、地域文化の継承につなげる。	
4	地域貢献隊ALEC	専門学校アレック情報ビジネス 学院学生会
	中心街に立地し地元根差した学校として、中心街を訪れる方の満足度向上及び居住する方の地域に対する愛着をより一層高めることを目的に、清掃活動や地域の高齢者宅の除雪作業をお手伝いするなど地域貢献活動を行う。	
5	イラスト研究会とりんご農家の協働による地域ブランド創出事業	イラスト研究会
	南部町の地域資源である良質なりんごの魅力を広く発信し、その価値を多くの消費者に届けるため、学生がリンゴジュースのラベルデザインし「生産者の想い」や「地域の物語」を可視化するほか、消費者に手にとってもらえるよう、陳列棚のPOPや説明書きも作成する。	
6	ベビーカーから見える 子育てしやすい街 八戸	赤ちゃんゼミナール（中嶋ゼミ）
	ベビーカー博士ちゃんによる講座を開催するほか、中心市街地を学生がベビーカーを使用して歩くフィールドワーク、ベビーカーが利用できたり赤ちゃんが遊べたりする施設のマップを制作してまとめるなどの活動を通して、子育てしやすいまち八戸を目指す。	
7	やさしい日本語と多言語による観光マナー・モラル発信事業 in八戸	八戸学院大学 楊ゼミ
	外国人住民や外国人観光客が増加している八戸市において、生活上のルールやマナーが守られ、誰もが安心して暮らせる環境が整っているか分析し、多言語表記や案内表示が十分でないところには、学生がポスターや案内について提案を行う。	
8	新郷村を舞台としたSF モキュメンタリー制作の試み	八戸工業大学 感性デザイン学部 戴研究室
	独自性と神秘性を備えた豊富な観光資源を有する新郷村において、現在、注目されている「モキュメンタリー」と呼ばれる映像表現を用いて映像作品を作成し、地域の魅力を発信することで、若年層への地域への関心喚起を図る。	
9	八戸における新しい辛い物文化の形成	加来ゼミ
	辛い食べ物は世界的にも日本国内でも人気があり、SNSの普及とともに話題性に事欠かない存在である。本事業では市内の市場や飲食店で辛い食べ物の調査を行いながら、中国人留学生の視点で商品を考案し、食のまち八戸において新しい食文化の可能性について検討する。	
合計 9 件		